

## カーヤこども食堂 活動報告書

開催場所 京都スパイスカレーKAAYA

参加費 こども 無料 / 保護者 300 円

開催日 2024 年 3 月

1 日、8 日、15 日、22 日、26 日、27 日、30 日

★1 日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作り チョコクッキー、きな粉クッキー

クリームサンドクッキー(いちご味・キャラメル味)、パウンドケーキ、不知火、  
麦茶、カルピス

参加者 こども 19 名 保護者 0 名

★8 日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作り カレー味おにぎり

クリームサンドクッキー (いちご味・キャラメル味)、パウンドケーキ、カント  
リーマアム、チョコパイ、ブラックサンダー、キウイフルーツ、不知火、麦茶、  
カルピス

参加者 こども 30 名 保護者 1 名

★15 日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作り チョコクッキー、きな粉クッキー、カップケーキ、トマト  
味のクラッカー、おからクッキー、カレー味おにぎり

カントリーマアム 麦茶、ぶどうジュース

参加者 こども 48名 保護者 2名

★22日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作り チョコクッキー、きな粉クッキー、カップケーキ、カレー  
味おにぎり

麦茶、ぶどうジュース

参加者 こども 29名 保護者 0名

★26日 16:30～19:00 「王将のお子様弁当無料配布とフード・パントリー」

参加者 こども 14名 保護者の方 10名

配布 王将のお子様弁当、お米、災害用ドロップ、スープ、缶詰、乾物、レトルト食品、歯ブラシ、ハンドクリンなど衛生用品。

★27日 11:30～19:30 「カレーの日」 (予約制)

食事 チキンカレー、マドレーヌ、みかんゼリー、麦茶、ぶどうジュース

参加者 こども 12名 保護者 4名

配布 お米、災害用ドロップ、スープ、缶詰、乾物、レトルト食品、歯ブラシ、  
ハンドクリンなど衛生用品

★29日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作り チョコクッキー、きな粉クッキー、カップケーキ、フルグラ  
ソフトクッキー、カレー味おにぎり

キウイフルーツ、黒糖ドーナツ棒、サクマドロップス、飴、麦茶、ぶどうジュース

参加者      こども    27名      保護者      0名

★30日 16:30～19:00 「王将のお子様弁当無料配布とフード・パントリー」

参加者      こども      13名      保護者の方      11名

配布 王将のお子様弁当、お米、災害用ドロップ、スープ、缶詰、乾物、レトルト食品、歯ブラシ、ハンドクリンなど衛生用品。

◆ご支援 お米3合、お米1kg4袋、お米5kg、お米30kg2袋、お菓子10個、ジャム1つ、味付け海苔1つ、コーヒーポーション3袋、インスタントラーメン1袋、ふわふわマスク3袋、はちみつ1kg1本、ベーキングパウダー1缶、野菜ジュース12本、マドレーヌ25個、黒糖ドーナツ棒3袋、災害用ドロップボトル33本、飴2袋、コーンスープ1箱、ふりかけ6袋、袋ラーメン3、レトルトカレー16袋、鍋つゆ1袋、お茶1袋、ココア1袋、シリアル2袋、砂糖1袋、ビスケット1缶、レトルト調味料5袋、ホットケーキミックス1袋、味のり5袋、マヨネーズ4本、紅茶1箱、カレールー1箱、太平燕3箱、ソース4本、ポン酢1本、ドレッシング1本、ミートソース1缶、大豆水煮缶2缶、サバ缶1缶、カップ麺11個、洗濯洗剤4袋、ブラックサンダー6個、ウエハース2袋、いわしの缶詰48缶、さんまの缶詰48缶、焼き鳥の缶詰48缶、絵本4冊、キウイフルーツ7個、歯ブラシセット20個、優待券13枚、参加費2,100

円、募金箱 1,888 円、缶バッジ 1 個 300 円

今月は、延べ人数こども 192 名と保護者 28 名で合計 220 名の参加がありました。

今月も、個人のサポーターや参加者から物資寄贈や寄付金のご支援など、多くの方のお世話になりました。京都府の共同募金会の活動で、伏見区にある福祉作業所の「ふれあい工房」の焼き菓子（マドレーヌ）、3 回目のご提供いただきました。引き続き共同募金会や福祉作業所について子どもたちに伝えていきます。「おやつのじかん」に来ている子どもが保護者の方から託された支援の食品の寄贈や募金箱への寄付をしていただくことも多くなりました。このように様々な方々との繋がりが私たちの活動継続の力になっています。いつも、ありがとうございます。

今月は時間割や学校行事の兼ね合いで、おやつのじかんの参加人数が多かったです。毎週欠かさず参加する子から初めて参加する子まで、お菓子の量に余裕を持たせて準備して「なくなってしまった」と断らずに春休みの時期も乗り切れるように注意しています。

募金箱を設置してから、お小遣いやお年玉の残りからこども食堂に少額の寄付をしてくれる子が出てきました。口々に「こども食堂がなくなってほしくない」「ここは自分たちも支えている大切な場所なんだ」と言ってくれます。も

らった寄付金でおやつを作っていると説明すると、以前に比べてもっとこぼさないように気をつけてお菓子を食べたり、ドアや椅子なども大切に扱ったりしてくれるようになってきたように感じます。こども食堂を大切に作る気持ちを持ってくれる子が増えたようで、感激しています。

一方で、他の子どもたちの迷惑になるような乱暴な振る舞いを止められない子どももいます。理解できるような言葉でそのような行為はやめてほしいと説明を尽くしますが、その瞬間は「はい」と返事をしますが1分も経たないうちにスタッフが他の子に説明しているときに騒いで妨害をしたり、わざとおやつを粗末にするような行為をして笑っていたりします。今までにないケースで、対応に苦慮しました。ルールを守れない子どもや何度注意をしても解ってもらえない子どもには、子どもだけで来ないでくださいと言っています。次に来るときは子どもだけで来ずに必ず保護者の付き添いをお願いしています。これは他の子どもたちの安全を守るためとカーやこども食堂が託児や保育をする場所ではないという理由です。運営している大人の人数が限られているため、安心安全な運営のために、ご理解いただきたいと思います。

春休みにこども食堂のお手伝いがしたいと新たに名乗り出てくれた子がいます。参加者に挨拶をしたり、おやつを運んだり、家庭でのお手伝いとは違った緊張感のある中で頑張って挑戦しています。勇気を持って自分の気持ちを伝えてくれたことがとても嬉しいです。

昨年引き続き福祉法人えのき会の皆様より、たくさんの食品の提供をいただきました。企業からの賞味期限の近付いた災害備蓄品の放出もありました。カレーの日の参加者、つながりのあるご家庭を中心に食材を分配しています。災害時の備蓄品についても必要性なども含め知識を深めてほしいと思っています。

参加者もその保護者も、サポートしてくださる方も、支援先企業や団体の皆さまも、スタッフも、関わる人がたくさんいて成り立っている活動です。来年度も子どもたちの心が明るくなる場所であり続けられるよう、頑張ります。

カーヤ子ども食堂運営委員会

木村